

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団
公演団体名	仙台フィルハーモニー管弦楽団

内容
<ul style="list-style-type: none">・自己紹介～オーケストラで使われる楽器の紹介 オーケストラは、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4つのグループに分けることができます。 [弦楽器] ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス [木管楽器] フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット [金管楽器] ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ [打楽器] スネアドラム、バスドラム、ティンパニ、鍵盤打楽器等・質疑応答 児童・生徒の皆さんをはじめ、先生からもオーケストラや、楽器について、また演奏者自身（音楽家として）のことについて質問・疑問をお受けします。・ミニ・コンサート ピアノ+管楽器または弦楽器などのソロ作品をはじめ、複数楽器が組み合わさったアンサンブルの作品など、様々な形態の作品を演奏します。（下記は予定です）<ol style="list-style-type: none">①ヴァイオリン独奏②トランペット独奏③打楽器独奏④アンサンブル⑤アンサンブル

タイムスケジュール（標準）
学校の時間割の1時間分を予定しています（小学校は45分、中学校は50分）。 ▼例）小学校で、午前11時からワークショップ開始の場合 9時30分 会場入り 11時00分 ワークショップ開始 11時45分 ワークショップ終了 ※基本的にワークショップ開始の90分前に会場入りをします。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

弦楽器奏者、管楽器奏者、打楽器奏者、ピアニスト、スタッフ2＝合計6名を予定

学校における事前指導

授業時数確保等の事情で本公演に向けたワークショップが開催できない場合、本公演でも児童・生徒の皆さんに楽器の仕組みや音色については、司会者が適宜フォローしますので、ご安心ください。また、本公演に向け少しでも興味を持ってもらうべく、仙台フィルオリジナル楽器紹介パンフレットを事前に送付します。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団
公演団体名	仙台フィルハーモニー管弦楽団

演目
① 【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」 ② グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 ③ 【指揮体験】「君も先生もマエストロ」 ④ ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」ハ短調作品67より第1楽章 ⑤ 【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」 A：ビリーブ、B：翼をください、C：明日という日が、D：花は咲く ※選択 ⑥ ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」セレクション ⑦ アンコール) 開催校校歌 ※学校の実情に合わせて順番を入れ替える可能性やプログラムを変更する可能性があります ※⑤合唱共演は、コロナの影響で実施できない場合はオーケストラの作品に差し替えます。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
指揮：佐々木 新平 司会：我妻 雅崇 管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団（2管8型） 【編成】8-6-4-4-3/3-2-2-2/4-3-3-1/Timp, 3Per, Hp/ 合計52名+スタッフ7名 合計=59名（選択曲により管楽器編成は一部減る可能性あり）

タイムスケジュール（標準）
11時00分 スタッフ・トラック（4t w × 2台）会場入り→以降、体育館設営
13時15分 児童・生徒の皆さん会場入り
13時25分 学校関係者ご挨拶（無しパターンも可）
13時30分 開演
14時10分 休憩（15分間）
15時00分 終演～バラシ 着替えなど終了次第楽団員出発
16時00分 スタッフ・トラック退校
※各クール最初の学校は、リハーサルを行うため9時に会場入りとなります。

実施校への協力依頼人員

バスやトラック等の車両の搬入および搬出に際し交通整理などの必要が場合は、数名のお手伝いをお願いいたします。また本公演における搬入および搬出作業（楽器・備品）はすべて楽団スタッフで作業いたします。体育館内のイスの準備・片づけは学校側をお願いいたします。

演目解説

コンサートを始める前に、まずは【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」。オーケストラを4つのグループ（弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器）に分けて、音色や発音の特徴、演奏方法をひとつずつご紹介いたします。楽器の特徴を生かしたパフォーマンスも飛び出します。チューニングを終えたオーケストラ、どんな音が出てくるのかとワクワクしている子供たちに聞いていただくのは、グリーンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲。フル・オーケストラとしての響きを味わえるほか、弦楽器奏者の細かい指や弓の技巧的な動きを視覚的にも体感することが出来ます。「抒情的な旋律」やオーケストラ全員で奏でる「疾走感」が楽しめる作品です。

【指揮体験】「君も先生もマエストロ」では、児童・生徒から2名、そして先生1名に、オーケストラの指揮者を体験していただきます。指揮者の役割について、会場全体で学んでいただくことが出来ます。そして指揮棒は記念にプレゼント！

後半は、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章からスタート。この曲は、誰もが一度は必ず耳にしたことのある、音楽の教科書にも必ず掲載されているプログラムです。運命のモチーフ（動機）とも呼ばれる「ダダダーン」の音型が、のちの作曲家に与えた影響の大きさはとても大きく、この「運命」の作品の中でも、音や形を変えて何度も何度も登場します。演奏に先立ち、実際にこの「運命のモチーフ」がどのように登場するのか、またこのモチーフがのちの作曲家に与えた影響などについて、実演を交えながら解説したのち、1楽章を演奏します。

【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」では、オーケストラを伴奏にして、児童・生徒の皆さんと共演をするプログラムです。楽団側から提示させていただく4曲の中から、学校側で1曲選んでいただき、公演での共演に向けて練習をしていただきます。

プログラム最後に演奏するのは、ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」セレクション。「私のお気に入り」「ドレミの歌」「エーデルワイス」「すべての山へ登れ」など、同ミュージカルで使用されている音楽をメドレーで繋げたプログラムです。近年では、授業で取り上げられる機会もあり、世代を超えて愛される作品の一つです。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

指揮者体験コーナー「君も先生もマエストロ」では、児童の皆さんに2名、そして学校の先生に1名、指揮者を体験していただきます。当方で準備する指揮棒を使って、指揮者からレクチャーを受けた後、実際にオーケストラを指揮していただきます。その指揮棒は楽団からプレゼント（学校へ寄付）いたします。

合唱共演「オーケストラと一緒に歌おう！」では、学校側で選択していただいた1曲をオーケストラ伴奏と一緒に歌います。

アンコールとして、開催校校歌をフル・オーケストラ編成でアレンジして演奏します。児童・生徒の皆さんにとって親しみのある市民歌や県民歌への変更することもあります。

児童生徒とのふれあい

本公演では、ワークショップで説明する弦楽器や管楽器についての発生方法や音色など基本的な内容を振り返りながら進めていきます。新型コロナの影響により子供たちの近くでのふれあいが難しいこともありますが、オーケストラの演奏や指揮者体験コーナー、合唱などのオーケストラとの共演を通して、音楽に対する興味関心、そして魅力を大いに感じていただけたら幸いです。